

こん虫大好き

名和哲夫さん

(名和昆虫博物館館長)



自然をこよなく愛する名和さんにインタビューしました

虫に興味をもったのは？



子どものころ、「ファール昆虫記」という本を読みました。その本に、「オオヒョウタンゴミムシが死んだふりをする」という話がのっていました。ある時、畑でナガヒョウタンゴミムシを見つけました。本に出てくる虫の仲間を身近で見つけたことに感激し、虫を飼育するようになったのです。

趣味は？



子どものころは、ソフトボールや野球をしたり、おにごっこをしたりするなど、外で遊ぶことが好きでした。また、音楽もよく聴いていました。高校生からギターを始め、大学時代はバンドを組んでいました。

金華山の魅力は？



金華山は原生林なので、昆虫がたくさんいる所ではありません。しかし、特殊な昆虫がいます。たとえば、小学生が、全国的にもあまり見つからない「ベーツヒラタカミキリ」や「オオゴキブリ」を捕まえることもあります。金華山は、特殊な昆虫がいる神秘的な山なので、何回でも登って昆虫を採集し、自然のしくみを解明していきたいと思っています。

また、岐阜市は町中どこでも昆虫採集できます。これは全国的に見ても珍しいことなので、岐阜市の誇りの1つです。山が3つ4つならんでいる所には、昆虫の種類が多いのです。

ぎふっ子へのメッセージは？

- 昆虫とりは、道具がほとんどいらない遊びなので、家の中で遊んでいないで、外へ出て、昆虫と友達になってほしい。
- 身近で見つけた昆虫を飼育して欲しい。昆虫は、自然を知る道具の1つです。自然の大切さは、直接体験しないと本当には分からないので、ぜひ昆虫（自然）を楽しんでほしい。

